



1.《陶器大壺》原平造著作 2.《漆器茶桶》初代小島源造著作 3.《漆器茶壺(香合)》三井記念美術館蔵 4.《漆器茶壺》東京国立博物館蔵 5.《漆器茶壺》小林如定作 6.重要文化財《聖手茶筒 銘 昌興》根津美術館蔵 7.重要文化財《赤黒茶筒 銘 熊一物》根川美術館蔵 8.《竹中次郎初代小島源造著作 9.《片輪車輪軸香合》原平造著作／狩野内山朝朱撰下絵 11.国宝《大井戸茶碗 裏方焼門井戸》根津美術館 12.《青磁中置托入 銘 夕錦山》根津美術館蔵 13.国宝《片輪車輪軸手箱》東京国立博物館蔵 14.《高杉 銘 鶴のはし》松平不昧作／八景本陣記念館蔵 15.国宝《平徳園 梅花天目》相國寺蔵 16.《大角香合》狩野内山朝宗蔵 17.《高山 色絵菊籠茶碗》長尾京著作 鎌倉記念館蔵 18.《藤「瓊」》松平不昧蔵 19.《松平不昧御筆》月岡寺蔵 20.《一盤切竹花入 銘 乙と女》松平不昧作 21.《唐物茶壺》入 富士山酒蔵 湯木美術館蔵 22.国宝《海印寺香合》虚空庵遺物 東京国立博物館蔵

ぼくのわたしの
雲州蔵帳

うん

しゅう

くら

ちよう



雲州蔵帳とは



不味さんはたくさんのお茶道具を
集めました。集めたものは自分だけ
の宝物ではなく、みんなの宝物と
考えて、自分がいなくなつたあとも
みんなに大切にされるように、ノート
にまとめました。そのノートが『雲州
蔵帳』です。雲州は島根の出雲地域の
こと、蔵は宝物を入れる建物、帳は
台帳を意味します。つまり、不味さん
のお宝ノートと言えるでしょう。



Matsudaira
Fumai

お茶を楽しむ
大事にした茶人

およそ二五〇年前の
松江藩の藩主



《御茶器帳（雲州蔵帳）》
月照寺蔵



この本の使い方

自分だけの蔵帳を完成させよう！



展示作品の中から
お気にいりをさがす。



この本に書きこむ。
または、シールをはる。
※展示室ではえんぴつを使ってね！



完成！



展示室には、不昧さん
に關係のある作品が
たくさんあります。
不昧さんは雲州蔵帳
の中でお宝を七つ
のグループに分けま
した。みんなもお気に
いりの作品をみつけ
て七つのグループに
わけてみよう！

雲州蔵帳
不昧さん
蔵帳の使い方
1. 自分だけの蔵帳を完成させよう！
2. 展示室には、不昧さんに關係のある作品がたくさんあります。
3. 不昧さんは雲州蔵帳の中でお宝を七つのグループに分けました。みんなもお気にいりの作品をみつけて七つのグループにわけてみよう！

雲州蔵帳の分類・一

宝物之部

不味さんは特別な思い
で評価し、中には参勤
交代の折にも肌身離
さず持参したものと
ある。

最上級!!

かわりに

なるもの

なんてない!



あなたの思う最上級の作品を
つぎの作品に

作品の名前

雲州蔵帳の分類・二

大名物之部

おれめいぶつのおぶ

千利休先生の時代の
ものや、それ以前の足利
義政の時代に選ばれ
た名品。

ほかの人も

いいね！つて

言うに

ちがいない。



大いにしたい作品は？

作品の名前

雲州蔵帳の分類・三

中興名物之部

不味さんが慕っていた
小堀遠州によつて選ば
れた名品。

なかなか
いいものでしょ？
私の好きな人も
いいねって
いいそう。

好きな人に紹介した
ら、もういいよ。

作品の名前

めいぶつなみのぶ
名物並之部

偉い誰かが良いと言った
ものではなく、不味さん
自身を選んだもの。

これは私の
お気にいり。
みんなはまだ
良さに気づいて
ないかも。

自分だけのお気にいりなモノです。

雲州蔵帳の分類・五

上之部

名物並と同じく、不味さんの価値判断で選んだもの。類品があってもその中でも優れているもの。

なんだかんだでこれも私のお気にいり。

作品の名称

雲州蔵帳の分類・六

中之部

類品のあるもの。

これもなかなかいいでしょ。

作品の名称

雲州蔵帳の分類・七

下之部

日常使いしてもよいもの。不味さんが作らせたものの優品を含む。

いつもそばにあるといいね。

作品の名称

ほんわか どう使うの？
お茶道具辞典



掛物
かけもの

お茶を飲む部屋（茶室）に飾ります。お茶を点ててもてなす人（亭主）のメッセージが込められたものや季節にあつたものを掛けます。



まわりの布（製）もみどころ。
よく見たらいろんな柄があるよ。



お茶を飲む部屋（茶室）に、お花を入れて飾る花瓶です。置いて使う置花入、壁にかけて使う掛花入、釣ってつかう釣花入があります。



竹の他にも金属や焼き物などの花入も使われるよ。

着せ替え人形のお洋服のように、
 ひとつの茶入にいくつもの
 袋がついている
 こともあるよ。



お茶の粉を入れる焼き物の
 容器です。濃茶といつてど
 ろつとしたお茶を点てる粉を
 入れます。象牙の蓋を使い、特
 別な布で作った袋（仕覆）に
 入れておきます。



栗は植物のナツメの実に
形が似ていることから
名前がついたそう。



みなさんが抹茶、というときまず思い浮かべるのは
おそらく薄茶と呼ばれるもの。そのお茶の粉を
入れるための容器です。漆塗りのものも多く、
いろいろな形がありますが、栗の形が一般的です。



茶ちや

碗わん

お茶を飲むための器
です。たくさん種類
があり、どこで焼
かれたか、どんな形
をしているか、どん
な模様があるかなど
で区別します。



筆に絵を描いたものや、ざっと刷毛で
ぬったもの、手のひらに包みこまれる
ような形をしたものなど、
いろんな茶碗があるよ。



小さな茶杓に
じつは細かな
こだわりが
つまっているんだ



茶入、薄茶器からお茶の粉をすくって茶碗に入るための道具です。歴史に残る茶人が自分で作って名前をつけた茶杓が残っています。茶杓をプレゼントするため、入れもの(筒)が作られたと言われています。



筒

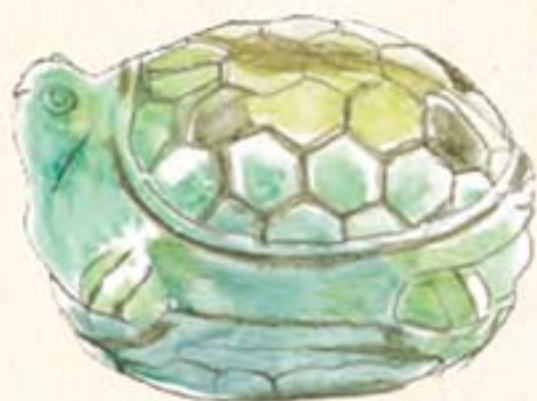




ふたがついた小さな
入れ物だね。



いい香りのするお香をいれる容器。漆塗りや、焼き物などで作られます。たくさん種類があり、かわいらしいものやキラリと輝く美しいものまで模様も形もさまざまです。



おねがい

- ① 字や絵をかくときは、えんぴつをつかってね。
- ② 作品やケースのガラスにはさわらないでね。
- ③ 大きな声を出したり、走ったりしないでね。
- ④ 食べ物や飲み物はもって入らないでね。

展覧会情報

没後200年 大名茶人・松平不昧

2018年9月21日(金)～11月4日(日)

[開館時間]9月10:00～日没後30分

(展示室への入場は日没時刻まで)

10・11月10:00～18:30

(展示室への入場は18:00まで)

[休館日]火曜日

主催/島根県立美術館、松江市、NHK松江放送局、
NHKプラネット中国、山陰中央新報社、
TSK山陰中央テレビ、SPSしまね

協賛/NISSHA株式会社

制作協力/NHKプロモーション



島根県立美術館

〒690-0049 島根県松江市袖師町1-5

TEL:0852-55-4700 FAX:0852-55-4714

ぼくのわたしの
雲州蔵帳



おねがい

- 1 字や絵をかくときは、えんぴつをつかってね。
- 2 作品やケースのガラスにはさわらないでね。
- 3 大きな声を出したり、走ったりしないでね。
- 4 食べ物や飲み物はもって入らないでね。

展覧会情報

没後200年 大名茶人・松平不昧

2018年9月21日(金)～11月4日(日)

[開館時間]9月10:00～日没後30分

(展示室への入場は日没時刻まで)

10・11月10:00～18:30

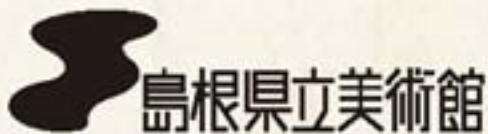
(展示室への入場は18:00まで)

[休館日]火曜日

主催/島根県立美術館、松江市、NHK松江放送局、
NHKプラネット中国、山陰中央新報社、
TSK山陰中央テレビ、SPSしまね

協賛/NISSHA株式会社

制作協力/NHKプロモーション



島根県立美術館

〒690-0049 島根県松江市袖師町1-5

TEL:0852-55-4700 FAX:0852-55-4714

雲州蔵帳とは



不味さんはたくさんのお茶道具を集めました。集めたものは自分だけの宝物ではなく、みんなの宝物と考えて、自分がいなくなつたあともみんなに大切にされるように、ノートにまとめました。そのノートが『雲州蔵帳』です。雲州は島根の出雲地域のこと、蔵は宝物を入れる建物、帳は台帳を意味します。つまり、不味さんのお宝ノートと言えるでしょう。

この本の使い方

自分だけの蔵帳を完成させよう！



其の一

展示作品の中からお気にいりをさがす。

其の二

この本に書きこむ。または、シールをはる。
※展示室ではえんぴつを使ってね！

其の三

完成！



松平不味

Matsudaira Fumai



およそ二五〇年前の
松江藩の藩主

お茶を楽しみ
大事にした茶人



《御茶器帳（雲州蔵帳）》
月照寺蔵

展示室には、不味さん
に関係のある作品が
たくさんあります。
不味さんは雲州蔵帳
の中でお宝を七つ
のグループに分けま
した。みんなもお気に
いりの作品をみつけ
て七つのグループに
わけてみよう！

雲州蔵帳の分類・一

宝物之部

不昧さんは特別な思い
で評価し、中には参勤
交代の折にも肌身離
さず持参したものと
ある。

最上級!!

かわりに

なるもの

なんてない!



雲州蔵帳の分類・二

大名物之部

千利休先生の時代の
ものや、それ以前の足利
義政の時代選ばれ
た名品。

ほかの人も

いいね!つて

言うに

ちがいない。



あなたの思う最上級の作品は?

大鼻にしたい作品は?

作品の名前

作品の名前

中興名物之部

不味さんが慕っていた
小堀遠州によつて選ば
れた名品。

なかなか
いいものでしょ？
私の好きな人も
いいねって
いいそう。

名物並之部

偉い誰かが良いと言つた
ものではなく、不味さん
自身が選んだもの。

これは私の
お気にいり。
みんなはまだ
良さに気づいて
ないかも。

好きな人に紹介したいもの。

いいもの。

作品の名前



自分だけのお気にいりを探そう。

作品の名前



ほんわか どう使うの？
お茶道具辞典



掛物

お茶を飲む部屋（茶室）に飾ります。お茶を点ててもてなす人（亭主）のメッセージが込められたものや季節にあつたものを掛けます。

まわりの布（製）もみどころ。よく見たらいろんな柄があるよ。



作品の名前

作品の名前

作品の名前

なんだかんだでこれも私のお気にいり。

これもなかなかいいでしょ。

いつもそばにあるといいね。

名物並と同じく、不味さんの価値判断で選んだもの。類品があつてもその中でも優れているもの。

類品のあるもの。

日常使いしてもよいもの。不味さんが作らせたものの優品を含む。

雲州蔵帳の分類・五
上之部

雲州蔵帳の分類・六
中之部

雲州蔵帳の分類・七
下之部

着せ替え人形のお洋服のように、
ひとつの茶入にいくつもの
袋がついている
こともあるよ。



お茶の粉を入れる焼き物の
容器です。濃茶といつてど
ろつとしたお茶を点てる粉を
いれます。象牙の蓋を使い、特
別な布で作った袋(仕覆)に
入れておきます。



お茶を飲む部屋(茶室)に、お花を入れて飾る
花瓶です。置いて使う置花入、壁にかけて使う
掛花入、釣つてつかう釣花入があります。



竹の他にも金属や
焼き物などの
花入も使われるよ。

薄茶器

葉は植物のナツメの実に
形が似ていることから
名前がついたそう。



みなさんが抹茶、というときまず思い浮かべるのは
おそらく薄茶と呼ばれるもの。そのお茶の粉を
入れるための容器です。漆塗りのものも多く、
いろいろな形がありますが、棗の形が一般的です。

茶碗

お茶を飲むための器
です。たくさん種類
があり、どこで焼
かれたか、どんな形
をしているか、どん
な模様があるかなど
で区別します。

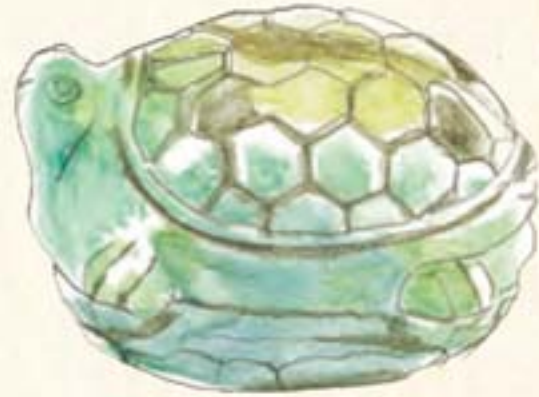


茶碗に絵を描いたものや、さっと刷毛で
ぬったもの、手のひらに包みこまれる
ような形をしたものなど、
いろんな茶碗があるよ。



ふたがついた小さな
入れ物だね。

香合こうごう



いい香りのするお香をいれる容器。漆塗りや、焼き物などで作られます。たくさん種類があり、かわいらしいものやキラリと輝く美しいものまで模様も形もさまざまです。



小さな茶杓に
じつは細かな
こだわりが
つまっているんだ

茶杓ちやく

茶入、薄茶器からお茶の粉をすくって茶碗に入れるための道具です。歴史に残る茶人が自分で作って名前をつけた茶杓が残っています。茶杓をプレゼントするため、入れもの(筒)が作られたと言われています。



筒つつ